

地域研修として4週間研修させていただき、主な業務としては初診外来を担当させていただきました。初診外来では、問診から鑑別疾患を挙げる重要性を改めて学ぶことができました。日頃研修病院では、救急車でこられた患者さんの診療にあたる機会が多く、網羅的に検査をすることがしばしばありますが、問診や身体診察から鑑別疾患を考え、必要な検査をオーダーするという意識を身につけることができました。第一印象では重症感のない患者さんでも、しっかりと訴えに耳を傾けると、緊急性の高い疾患が隠れていることもあることを痛感しました。

また、作手診療所の診察を見学する機会もいただきました。診療所という限られた施設でどのように診察をしていくのかを学ぶことができ、大変貴重な機会になりました。

訪問診療では、末期癌の患者さんの診療を見学させていただき、積極的治療をしない患者さんとの向き合い方について考えさせられました。

研修中は入院患者さんも診させていただき、誤嚥性肺炎や脳梗塞といった common disease から、普段あまり触れる機会のない電解質異常まで、様々な疾患の管理を学ぶことができました。上級医の先生方は1つ1つ丁寧にご指導下さり、自分でも勉強する時間を取ることができてとても有意義な研修になりました。

朝カンファレンスの勉強会では、総合診療科の先生方のプレゼンテーションを見させていただく機会が多くありました。自分の勉強したことのないテーマはもちろんですが、勉強したつもりであった疾患でも様々な知識を共有していただけて非常に勉強になりました。また自分が発信する側として勉強会をする機会もあり、疑問に思ったことをどのように調べれば良いのか、どのようにまとめたらわかりやすいかなどを考える貴重な経験になりました。

4週間という短い期間ではありましたが、新城市民病院での研修では非常に多くのことを学ばせていただき、今後自分が診療をしたり勉強をしたりするのに生かしていきたいと思えます。最後になりますが、日々外来診察や入院管理をご指導くださった先生をはじめとして総合診療科の先生方には大変お世話になり、ありがとうございました。また外来看護師の皆様をはじめとして病院スタッフの皆様にも優しく接していただき心より感謝しております。